平成26年度「東村跡」現場説明会資料

平成 26 年 11 月 30 日（日）
沖縄県立埋蔵文化財センター

１．はじめに

沖縄県立埋蔵文化財センターでは、平成26（2014）年７月から「東村跡」の発掘調査を実施しています。今回の調査は、離島から本島の高校へ進学する高校生等が利用する離島児童・生徒支援センター（仮称）の建設に伴い、予定範囲内の貴重な文化財の詳細を工事着工前に記録し保存するために行っています。

２．調査の概要

・遺　跡　名：東村跡（あがりむらあと）
・所　在　地：那覇市東町21-1番地他３筆
・調査目的：離島児童・生徒支援センター（仮称）の建設に伴う記録保存調査
・調査面積：約515㎡
・調査期間：平成26年7月～平成26年12月

３．東村跡とは

東村は、那覇港の繁栄に伴って形成された村で、『中山伝信録』（1721年）などの文献資料には、周辺には船を係留するなど、港湾としての施設があり、技術者等が居住していたという記録が残されています。

また、東村跡周辺には冊封使の宿舎として利用された天使館(てんしかん)、航海安全の神のお宮である下天妃宮(しもてんぴぐう)、王国時代の港の行政機関である親見世(おやみせ)などの施設もありました。

戦前には、東町那覇市役所や警察署等の公的機関、さらに会社や銀行等も建設され、古くから那覇の中心地として多くの人でにぎわった場所でした。

４．調査の成果

今調査では、那覇市教育委員会による試掘調査の結果を基に調査範囲を決めて、１～３地点の調査を実施しました。

これらの調査成果は、今後詳細な資料整理作業によりまとめられます。ここでは、現時点で判明している成果の概要を報告します。

今回の調査区周辺は親見世の東側に位置し、琉球王国時代から戦前まで那覇市場があったとされる場所で、そのことを示すように、グスク時代、近世、近代～戦前の多種多様な遺構や遺物が見つかりました。調査の結果、遺構や遺物が確認できました。

（1）遺構

① グスク時代～近世の遺構：建物の柱跡、土坑（廃棄土坑）、円形石組遺構、石列、溝状遺構、貝集積など
② 近世の遺構：建物の柱跡、土坑（廃棄土坑）、方形石組遺構、石列、井戸、溝状遺構、獣骨集積など
③ 近代～戦前の遺構：石列、建物の基礎跡、井戸など

（2）出土遺物

グスク時代～近世、近代～戦前までの遺物が出土しており、中でも近世の遺物が最も多く出土しています。

① グスク時代：陶磁器（中国産）、瓦（高麗系）、自然遺物など

② 近　　世：陶磁器（中国産・本土産・沖縄産）、土器（宮古式、パナリ焼）、石製品、古銭、煙管、瓦（明朝系）、塼（せん）、自然遺物など

③ 近代～戦前：陶磁器、瓦、自然遺物など

５．主な遺構

今調査でみつかった多様な遺構について報告します。

石列（１・３地点）

１地点と3地点では、石列がみつかっています。屋敷の区画を示すものと考えられる石列の面や方位からは、かつての東村における屋敷の区画がどのようなものであったかがわかります。

１地点の石列は、南西から北東へ延びるものと東西に延びるものが交差しています。遺物はグスク～近世の中国産の青磁や白磁が得られています。

遺物廃棄土坑（２地点）

中国産の青磁や白磁、染付、貝、大型の獣骨など 15～16 世紀頃の遺物が一括で廃棄された土坑がみつかりました。青磁は碗、白磁は皿と器種が限定されていることも注目されます。

貝集積（1・2地点）

サラサバティラ（写真左側）やアラスジケマンガイ（写真右側）等の貝の集積遺構が見つかっています。遺構からは中国産の青磁なども出土しており、グスク～近世の時期のものと考えられます。何の目的で貝を集めたのでしょう？

方形・円形石組遺構（１・３地点）

今調査では、掘り込んだ坑内に方形または円形状に石で構築した石組遺構が検出されています。床面はサンゴ砂利敷きや岩盤のものもあります。用途としては、浸透桝（ます）などの可能性が考えられます。

方形石組と円形石組の関係について、出土する遺物や遺構の重なり具合から円形石組（写真右側）→方形石組（写真左側）のように変遷すると考えられます。

井戸（１～３地点）

１～3地点で合計5基確認されています。時期は近世～近代・戦前と考えられます。使用されている石の形や石の積み方などにはバリエーションがみられます。また、井戸内部が漆喰で補強されているものもあり、近代・戦前まで使用されたものと考えられます。

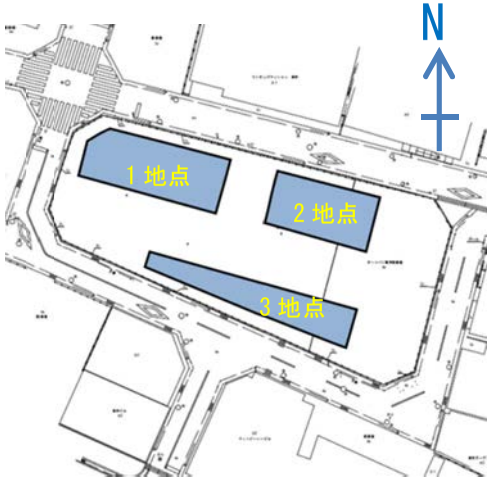
６．まとめ

今調査において、グスク時代から近世、近代・戦前の東村にかかわる遺構が、良好な状態で残っていることが確認できました。これらの遺構や、中国産の陶磁器類を中心に、大形の貝や獣骨類など多種多様な遺物が出土することなどから、かつてこの東町一帯周辺には公的な施設や、市場があったことを示唆しています。

調査終了後は、詳細な分析を行い、東町一帯の歴史を明らかにするとともに、今回の調査成果をまとめた調査報告書を刊行していく予定です。

１地点

２地点



東村跡調査区配置図

３地点